

## 参 考 資 料

### 第2期桜井市観光基本計画アンケート調査・分析について

## 目次

1	市内主要観光施設来訪者向けアンケート調査.....	1
	(1) 調査概要.....	1
	(2) 調査結果.....	1
2	市内事業者向けアンケート調査.....	5
	(1) 調査概要.....	5
	(2) 調査結果.....	5
3.	観光地点等入込客数調査.....	11
	(1) 調査概要.....	11
	(2) 調査結果.....	11
4	宿泊旅行統計調査.....	13
	(1) 調査概要.....	13
	(2) 調査結果.....	13
5	ふるさと納税の状況.....	15

# 1 市内主要観光施設来訪者向けアンケート調査

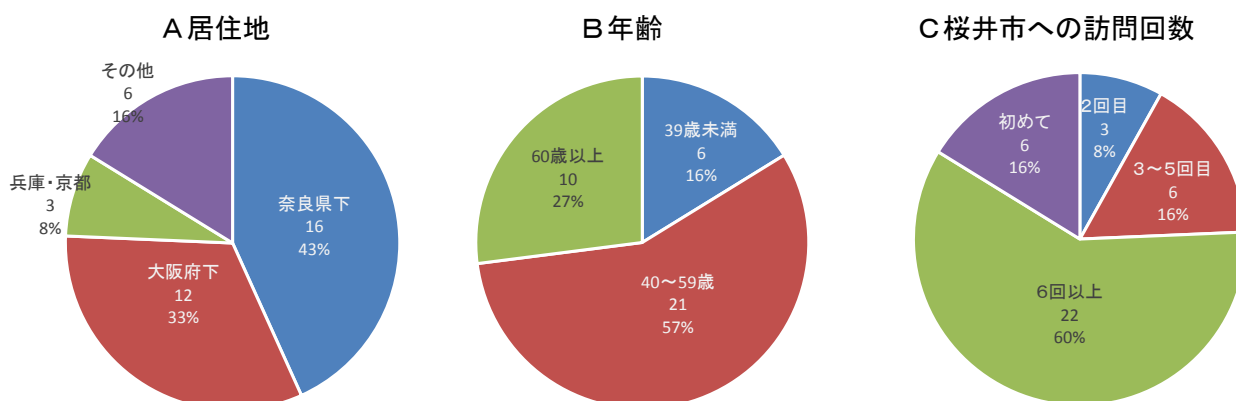
## (1)調査概要

調査目的	市内主要観光施設に訪れている方の市全体を対象とした訪問地点数、観光消費額を把握する。
調査単位	観光客1人1人
調査対象	市内主要観光施設に訪れている方
調査日	令和3年10月1日～10月31日
調査項目	観光消費額や訪問箇所等
実施方法	アンケートサイトのQRコードを示したポスター・チラシ等を市内観光施設に配置、Webを通じて行うアンケート調査。
回収	有効回答数：37件※

※緊急事態宣言後に調査を実施したものの、予測よりも観光客数の回復が遅く、十分な回答数を得ることができなかった。

## (2)調査結果

### ①あなたについて



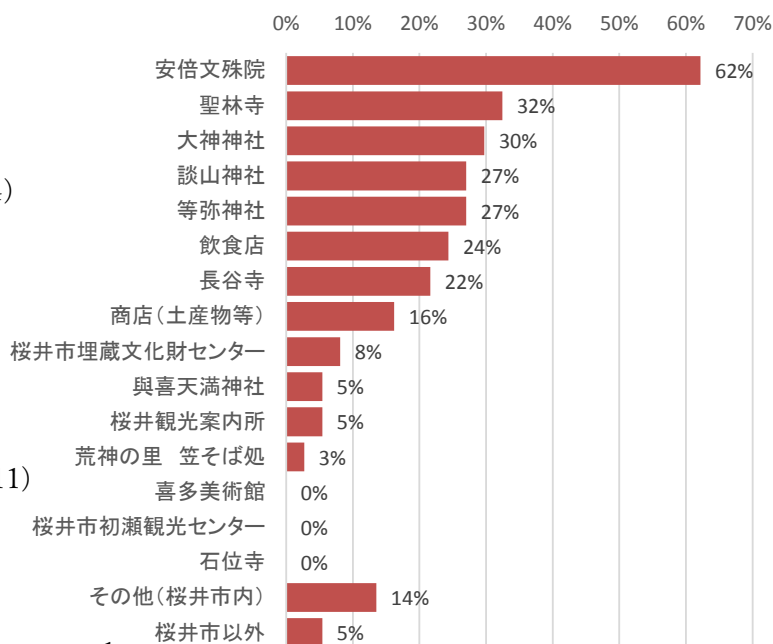
### ②訪問した所

平均：2.76箇所

(観光入込客数調査地点に限れば2.24)

安倍文殊院は62%と多く、5社寺が約2～3割を占め、飲食店、お土産も2割前後みられる。

パラメーター調査の訪問地点数(1.05～1.11)よりも多い傾向がみられた。



**③今回の観光で次のA～Fに係る費用(1人当たりの桜井市内のみの金額)はいくらか。(金額入力)**

観光での項目別消費額の平均(回答者全員を対象に算出)は、「買い物・土産物代」が1,607円、「飲食費」は907円となっている。「宿泊費」は、回答者が少ないため730円にとどまる。

「その他」は高額回答がみられたことから、平均も比較的高く2,059円となっている。

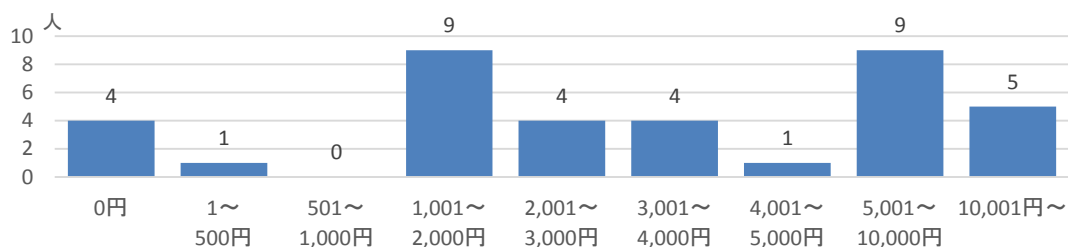
1人当たりの観光消費額の平均は、6,745円で、パラメーター調査の結果と比較すると1人当たり観光消費額は2～3倍になっている。

回答者37名中、全ての項目で0円としたのは4名(11%)であり、本調査では33名(89%)が観光消費額を回答している。回答者が多いのは、「入場料・体験料等」が25名(67%)、「買い物・土産物代」が24名(65%)、「飲食費」が22名(59%)となっている。

観光項目別費用	全回答者37名の平均	0円と回答した方以外の数(%)とその平均
A 交通費	662円	20名(54%)：平均1,225円
B 宿泊費	730円	2名(5%)：平均13,500円
C 買い物・土産物代	1,607円	24名(65%)：平均2,478円
D 飲食費	907円	22名(59%)：平均1,526円
E 入場料・体験料等	780円	25名(67%)：平均1,154円
F その他	2,059円	14名(38%)：平均5,443円
全体	6,745円	33名(89%)：平均7,563円

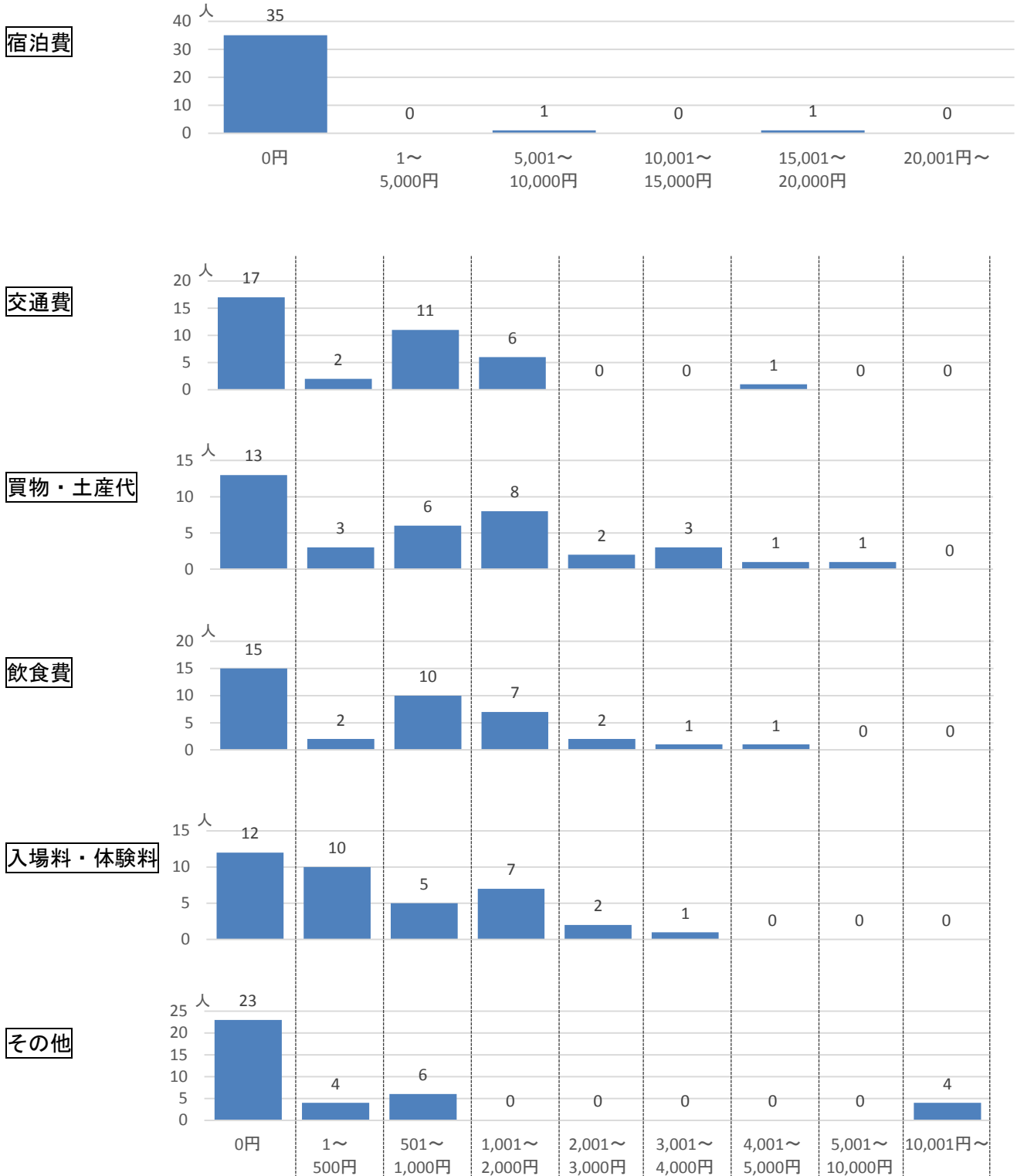
観光消費金額別回答者の分布をみると、1,001～2,000円と5,001～10,000円がそれぞれ9名(24%)で多くなっている。

桜井市での観光消費合計金額別の回答者分布(回答者数37名)



各項目別の消費金額別の回答者分布では、「交通費」、「買物・土産代」、「飲食費」は1,001～2,000円が多くみられる。「交通費」に関しては、市内では0円と回答された方が17名（46%）を占めている。「その他」は10,000円を超える方が4人（11%）みられる。

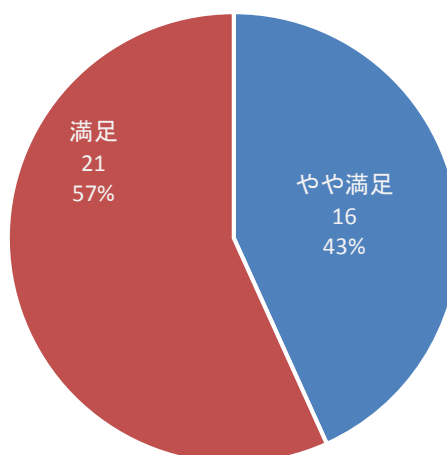
桜井市内での各項目の観光消費金額別の分布（回答者数37名）



#### ④ 今回の桜井市内の観光の満足度

5段階評価で、満足が57%、  
やや満足が43%で、不満は見られない。

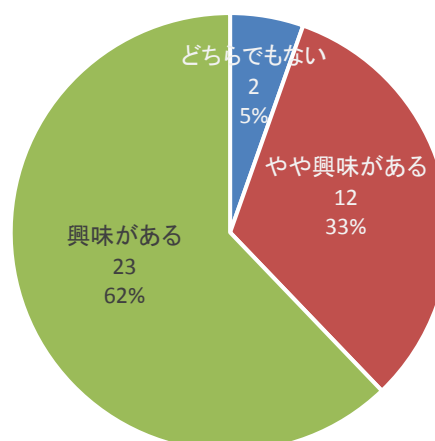
図 桜井市内の観光の満足度



#### ⑤ 桜井市の神々・御仏・自然による「癒やす観光」体験への興味

興味があるが62%、やや興味があるが33%で95%が興味を示している。

図 「癒やす観光」への興味



## 2 市内事業者向けアンケート調査

### (1) 調査概要

調査目的	市内の観光関係事業者を対象に、観光客数や消費単価に関するアンケート調査を行い、市内観光消費額算定の基礎資料とする。
調査単位	事業所
調査対象	桜井市おもてなし仕組みづくり協議会 会員
調査日	令和3年9月22日～10月4日
調査項目	観光客の消費額（売上）（令和元年と令和2年を比較調査）、 ウィズコロナ、アフターコロナで必要な取組、新たな観光基本計画に対するアイデア
実施方法	調査票配布しメール・FAXで回収
回収	20件

※緊急事態宣言後に調査を実施したものの、予測よりも観光客数の回復が遅く、十分な回答数を得ることができなかった。

### (2) 調査結果

#### (1) 観光客の消費単価・観光客(利用者)数

1人当たり消費額の平均ではコロナ前後の変化は少ないが、利用者数は大きく減少している。

項目	観光客1人当たりの消費額（円）		観光客（利用者）数（人）	
	令和元年平均	令和2年平均	令和元年平均	令和2年平均
①交通	—	—	—	—
②宿泊	7,934円	8,746円	2,824人	1,036人
③飲食	2,678円	3,111円	23,333人	20,142人
④娯楽等	300円	300円	30人	30人
⑤買い物	1,268円	999円	18,060人	14,459人
⑥その他	838円	820円	114,050人	60,700人

※①は該当する事業者の回答が未回収 ⑥は社寺等の参拝料・参拝者数が該当

## (2) インターネット等による売り上げ

(インターネット等で特産品等を販売されている事業者のみ)

インターネット販売をされている事業者の特産品や観光商品などのおおよその売上金額の平均と主な商品は令和元年と令和2年で大きな変化は見られず130万円程度となっている。

	インターネット等での特産品や観光商品など非日常品の売上 (円)	
	令和元年	令和2年
売上金額 平均	1,304,950 円	1,377,940 円
主な 商品内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三輪そうめん</li> <li>・日本酒、酒粕、酒袋グッズ、奈良漬</li> <li>・絵葉書セット等授与品</li> <li>・宝船</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三輪そうめん</li> <li>・日本酒、酒粕、酒袋グッズ、奈良漬</li> <li>・線香、クリアファイル、念珠、干菓子</li> <li>・写真集</li> <li>・わらしべしめなわ宝船</li> </ul>

## (3) 観光客の求めるサービス

桜井市内の観光客（桜井市の資源を楽しむ市内外の人）が求める消費行動について、ここ5年間で感じた傾向を新型コロナウイルス感染症流行前と後で応えていただいたところ、需要の変化があったという報告がみられる。

提供サービス	コロナ前(平成29年以降令和2年1月まで)	コロナ後(令和2年2月以降)
飲食	海外、県外の方もご来店頂いていた為、ホテル、観光の需要が多々あった。	県内の方が大半になり、日帰りでのお食事の方が増え、観光、ホテルへのご案内等需要が減った。
飲食	観光バス、外国人等増えてきていた。	店舗建て替えのためにほとんど休業していた。
飲食 買い物	安価で美味しいそばが食べられる。新鮮で安全な野菜が購入できる。	山間地域で密にならず短時間で飲食できる。安価で美味しいそばが食べられる。新鮮で安全な野菜が安く購入できる。
買い物		観光客の数が激減したが、消費行動に変化はないように思う。
買い物	<p>コロナ前のツアーのお客さまは、お寺の近くにバスを停められているので、集合まであと1時間あっても、歩いて散策されない。ガイドさんが早く集合されれば、早く出発しますということで、早めにバスに戻って、バスの中で時間待ちをされる。コロナ後になっても、これは変わらないと思う。</p> <p>駐車場から観光地までのお食事なり、買い物を楽しまれる。駐車場から観光地までが近く、サッと来れたら、サッとお帰りになる。</p>	

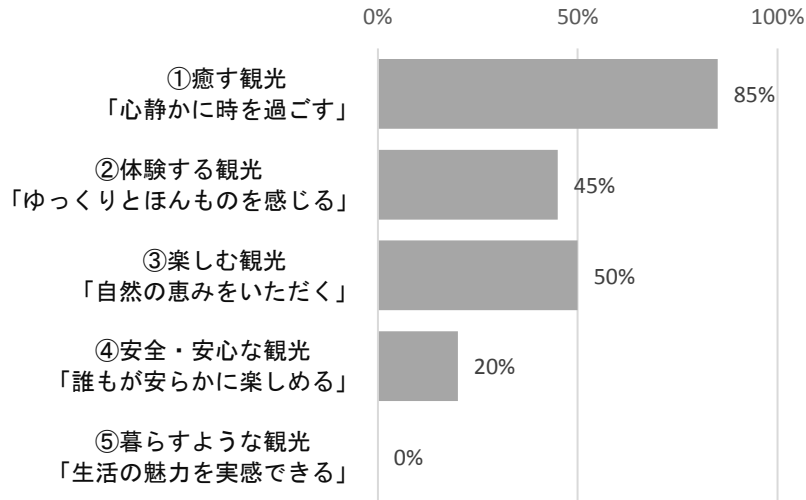


提供サービス	コロナ前(平成 29 年以降 2020 年 1 月まで)	コロナ後(令和 2 年 2 月以降)
買い物体験	ハイキング、観光地、地元の方が来ていた。	今はたまに地元の方が来るくらい。
買い物体験	大神神社を中心に長谷寺や談山神社の観光が伸びる雰囲気があった。さあ、これからという感じだった。	コロナの影響で、いままでの苦勞がすべて止まったような感じ。
買い物飲食	特になし	特になし
買い物宿泊	飲食店の数が増えると良いが…	夜間の飲食店の選択肢がない。
宿泊	海外からの来客が多かった為、消費行動の全容は解りかねるが、当施設は大神神社への参拝者が多く神社にまつわる消費が多いのではないかと。ちなみに三輪そうめんの認知度は低いと言える。来るまで知らなかったとおっしゃる方も多い。	残念ながら、極度に来客が減っている為、消費行動はうかがい知る事に苦慮するが、近所での食事等も遠慮されている方が多い気がする。コンビニ等で買って来られる方多し。
宿泊	静かな環境の中でリラックスして明日への鋭気を養う。	心身をいやし、くつろげる環境を求めて、落ち着いて休憩する。
宿泊	四季の花を楽しむ観光。観光地巡り。	心を癒やす観光。
社寺	食事・お土産・交通の便。	ネット配信、交通の便 関東方面の仏像ファン 奈良・大和・桜井ファンは数が多く、お運びくださった方のほとんどが「今度そちらに行きます」と言われた。何とか桜井駅からのバスが増えると良いが…
社寺	団体での拝観があった。	団体での拝観は無くなったが、僅かながら家族での拝観が増えた。
その他		感染症対策をしっかりと行っているか。 (消毒液の設置や検温機導入による対策など)
その他	発掘、歴史好きが来るイメージが強い。大神神社と山の辺の道の来訪者が多い。	美味しい場を目的として、遠くても、不便でも、ニーズが合えば人は来る。マスコミが取材する機会が増えた。

#### (4)次期観光基本計画で優先すべき取り組み

以下の①～⑤の観光のうち、優先すべきだと考える観光（3つまで選択）は、「①癒やす観光」が回答者の 85%、次いで「③楽しむ観光」が 50%、「②体験する観光」が 45%の順となっている。

優先すべき観光 (n=20)



また、各項目の具体的なアイデアとして、多くの意見が寄せられている。

各取り組みの具体的なアイデア

展開する観光	具体的な展開のアイデア
① 癒やす観光 「心静かに時を過ごす」 (聖地・文化・祭り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の寺社や国宝を巡り、それぞれのアピールすべき事柄を聞かせていただく。</li> <li>・現状の文化、祭りを大事にする。</li> <li>・そばの花の鑑賞やそば畑周辺の散策、その他の花（ひまわり）の植付による鑑賞。</li> <li>・標識を見やすく整備し、所々のいわれを読みやすくする。</li> <li>・仏様とむきあう空間。</li> <li>・三輪山平等寺では毎週日曜日の朝6時半から座禅会を無料でやっている。そのような無料のイベントを広報しては。</li> <li>・やまとは、国のまほろば、飛鳥時代より古い時代のアピール、山の辺の道をもっと活かすべし。</li> <li>・長谷寺の朝の勤行（パワースポット）</li> <li>・聖林寺の十一面観音が2022年8月頃に戻ってくる。それをとらえ。絡めた期間イベントPRを企画すれば良い。市内には国宝があり、ピンスポット的に企画するのが良い。</li> </ul>
② 体験する観光 「ゆっくりとほんものを感じる」 (歩く・感じる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺で僧侶から、僧侶が習ったように教わる瞑想講座。</li> <li>・地域のお祭りに、事前申し込みで旅行者が参加できる。</li> <li>・そばの手打ち体験（現在も実施中）。</li> <li>・三輪そうめんの製造【引き延ばし】体験の出来る観光。</li> <li>・酒蔵見学（できる範囲で協力したい）。</li> <li>・昭和感（都会にはない部分をもっとアピールする）本物のパンチパーマの人がいるとかをもっとアピールする（パンチパーマファッションショーとか）</li> <li>・市が中心となりオプションツアー等（市内に宿泊されたお客さんを、施設（宿泊施設等）関係なく、半日、また1日等ガイドしながら案内するツアー）を考えていただくのはどうか。少人数での営業であり、お客様を日中御案内したりする様な体制を構築することは難しい。</li> <li>・塗香づくり、写経。</li> </ul>

展開する観光		具体的な展開のアイデア
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三輪山平等寺では毎週日曜日の朝6時半から座禅会を無料で行っている。そのような無料のイベントを広報しては。</li> <li>・皮打ち体験。</li> <li>・山の辺の道の整備、桜井駅が出发点ではなく終着点でなくては物が動かない。</li> <li>・足湯できるような施設、泉湯などもあればいい。</li> <li>・三輪山登山（パワースポット）、山の辺の道。</li> <li>・「ほんもの」の中には、素材（木材・土・瓦・石）が含まれる。素材を感じるものとして、歴史的な町家・まちなみを感じられ歩いて楽しい「三輪・桜井・長谷」の修学と活用が大切。</li> </ul>
③	楽しむ観光 「自然の恵みをいただく」 (食べる・土産)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の特産品でいろいろ機会をつくって試食会を行う</li> <li>・川魚釣りで、釣った魚を料理していただける旅館での宿泊。</li> <li>・商会様のご支援で商品開発中（お酒）。販売において、市の支援をお願いしたい。地酒は地の米、地の水、地の風土によって醸し出されている地の文化である。</li> <li>・体験して作った素麺を土産としてもらえる。</li> <li>・そうめんがある！</li> <li>・地産地消を実施中。</li> <li>・寺社には御朱印のあるところとないところがあるが、桜井市の御朱印帳があっても良いのでは？</li> <li>・JRと近鉄駅があるのに活かされていない。</li> <li>・若者の好みそうな食べ物のお店をやってみる。</li> <li>・そばの花を見ながら笠そばを食べる。</li> </ul>
④	安全・安心な観光「誰もが安らかに楽しめる」(ダイバーシティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷寺・大神神社・談山神社を最寄り駅経由で、巡回するバス。</li> <li>・コミュニティバスを観光にも利用。</li> <li>・今はウイルス対策第一に。</li> </ul>
⑤	暮らすような観光「生活の魅力を実感できる」(関係人口の増加)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社仏閣での草引き等のボランティア活動の募集。</li> <li>・まちなみには若者、女性が歩いてにぎやかになることが必要。そのためには学生（大学）が研究の対象となる場づくりをどんどん増やすことで、学業、就職、移住、定着につながる。（当社はこの10年で研究に関わった学生が11名雇用につながり5名が市民）。</li> </ul>

### (5)自由記述 観光振興に対するご意見

提供サービス	自由意見
宿泊	中南和の魅力は「心のふるさと」「始まりの地」がよく似合うと思う。インバウンドの影響を排し、いつまでもこの良さを維持した観光施策を希望する。
宿泊	裏に2畳のお茶室があり、立寄ってお茶をしていただくような活用をしたい。また、家に残るかつて商売で使っていた大福帳や版木、町内の人の印鑑等の昔のこの町での商売に様子わかる資源をうまく活用したい。どうしたらよいかかわからないので、相談に乗ってもらえるなどの支援があるとよい。資源（大福帳、版木、三輪そうめんの帯、当時はなんでも取り扱っていたことがわかる、百貨店のよう。乾物とそうめんの物々交換の記録も残る。）
飲食	キャラクターを作り、全国にSNS等で発信したい。

提供サービス	自由意見
飲食	昭和の熱気あふれる三輪の良さをアトラクションが盛りだくさんに感じられるような「3丁目の夕日」のような、パンチパーマのおじさんが歩く埼玉の西武園遊園地のリアル版みたいなのが観光振興になると思う。
飲食, 買い物	総合的なとりくみを集約する。桜井の地に「道の駅」があればと思う。地元の人をターゲットにした品ぞろえだけでなく、観光客をターゲットに含んで品ぞろえを行う。
買い物	長谷寺から一番遠い市営初瀬観光センター駐車場が、長谷寺の近くの駐車場と同じ料金で運営されている。長谷寺まで約20分かかるため、利用者が少ないのが現状なので、無料にしたら利用者が増えるのではないかと。初瀬は春の観光シーズン以外は通行規制がないので、他の観光シーズンには町内が車で混み、人もゆっくり歩けない。町内を通り抜けされると更に混むので、川上区（長谷寺からダムまで）の駐車場に停めた車は、初瀬ダムから桜井浄水場は一方通行にして、国道に出るようにしていただきたい。紅葉のシーズンでは、夕方の進入してくる車両がない時間帯でも、帰りの車が国道に出る信号待ちとなるため、列をなしている。このような事態では、緊急車両も入って来られない。初瀬町内は拡幅できない道が多い為、山田酒店前より国道へ抜ける橋を架けて整備をして欲しい。車＝お客さんが乗っていらっしゃるの、参道を通ってお参りしていただきたい。
買い物	桜井駅だけに観光に来る人はいない。隣の市町村と協力・協調して、旅行業者が採用してくれるようなコースを提案しなければならないと思う。
社寺	2021年6月22日～9月21日「国宝 聖林寺十一面観音一三輪山信仰のみほとけ」は途中で、緊急事態宣言の発令、オリパラ、コロナ感染者5000人と混乱の中であったが、一度も休館することなく5万8千人以上の方がお運び下さり、手を合わす方、涙される方もおられ、観音様のお力を感じた。
社寺	コロナ禍でネットが中心となった。HPのない寺社に代わって紹介していただくようなページに、もっと力を入れてほしいと思う。
その他	今後もお参拝の皆様がご安全に心良くお参りが出来るように日々のご社頭でのご奉仕、また、新型コロナウイルスの感染症対策を行ってまいりたい。
その他	「おもてなしとは何か？」を学習すること。具体的に団体名がある看板はダメ。手作り感が大切。学習して終わりではなく、実践すること。形式的な青写真は無駄。できることから始めること。人を巻き込むこと。かつ楽しくすること。進行役、横串をさす人に光をあてること。次世代を支えること。計画的に人材育成をすること。見える化。皆の賛同や共感を経過も見せることで得られる。

### 3. 観光地点等入込客数調査

#### (1) 調査概要

調査目的	観光地点等を訪れた人数の把握
調査単位	観光地点及び行祭事・イベント
調査地点 (対象)	長谷寺、談山神社、大神神社、聖林寺、安倍文殊院、石位寺、等弥神社 與喜天満神社、桜井市立埋蔵文化財センター、荒神の里 笠そば処 喜多美術館、桜井市初瀬観光センター、桜井観光案内所 おんばら祭奉納花火大会、大和さくらい万葉まつり (全数)
調査周期	四半期 (1～3月、4～6月、7～9月、10～12月)
実施時点	四半期の末日
調査事項	月別観光入込客数
実施方法	観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に確認する
集計方法	観光地点等の分類別に集計
調査主体	桜井市

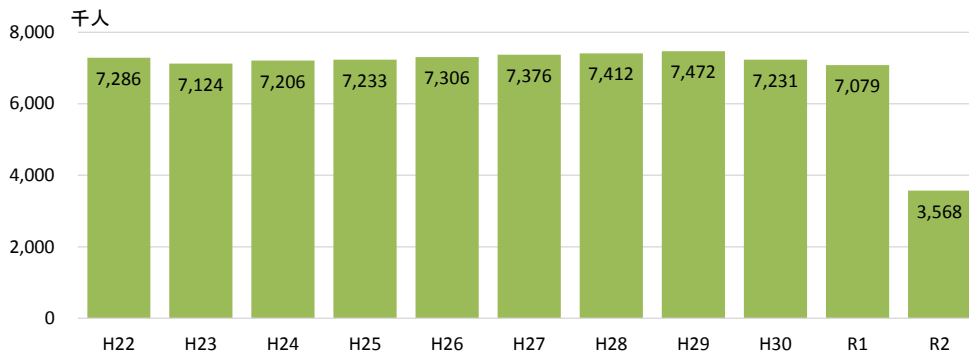
#### (2) 調査結果

##### ① 来訪者数の推移

桜井市には令和元年まで年間約 700 万人の来訪者数で推移しており、その多くを大神神社が占めている。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で前年度比 50%、約 350 万人に落ち込んでいる。

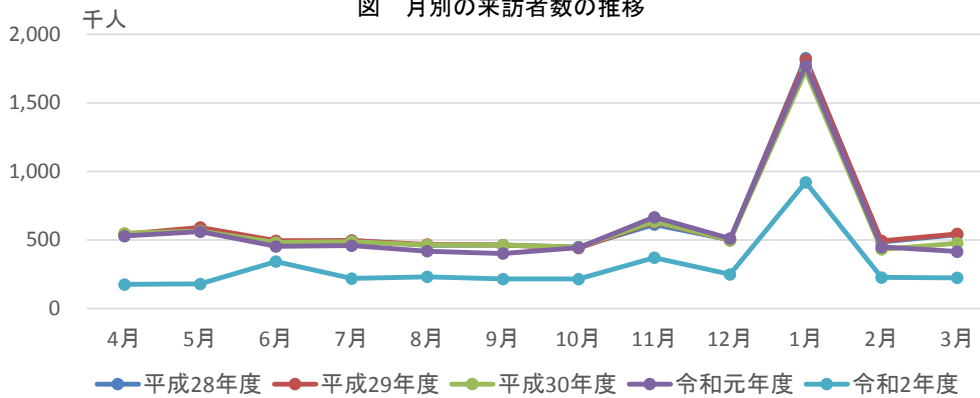
図 来訪者数推移



月別の来訪者数の推移は、令和2年度を除くと1月に180万人で、11月に60万人を超え、その他の月は50万人程度で推移している。

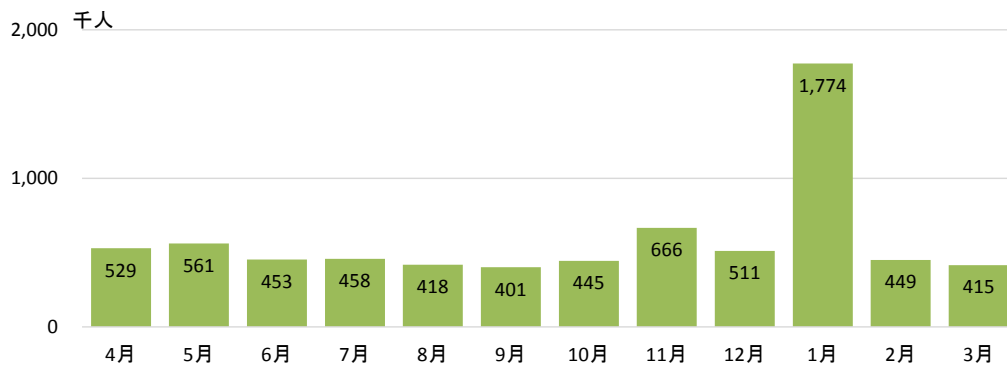
令和2年度は、6月を除いて毎月が例年の半数程度となっている。

図 月別の来訪者数の推移



月別の来訪者数を、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元年度で見ると1月の大神神社が突出しており、初詣客による増加と考えられ、その他の月も大神神社が8割程度を占めている。また、春の花見、秋の紅葉シーズンにやや増加する。

図 月別の来訪者数 令和元年度



## 4 宿泊旅行統計調査

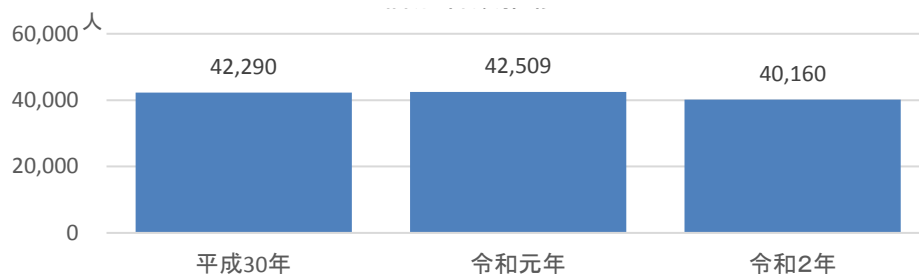
### (1) 調査概要

調査目的	県内の宿泊動向を把握
調査単位	宿泊施設ごと
調査地点 (対象)	県内の旅館業法に基づく営業許可施設で、主に観光・ビジネス向けの宿泊施設
調査周期	四半期毎調査票を送付・回収
調査事項	宿泊者数
実施方法	調査票を郵送にて配付し、2ヶ月程度かけて回収。(葉書、電話による督促を実施。)
集計方法	営業形態(ホテル、旅館、簡易宿所、キャンプ場)別、6つのエリア別に延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、客室稼働率等を推計。
調査主体	奈良県観光局ならの観光力向上課

### (2) 調査結果

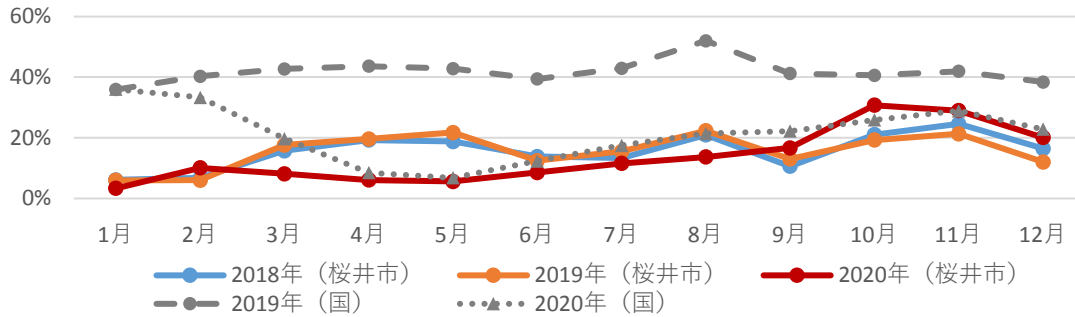
宿泊者数は、平成30年と令和元年は4.2万人程度で、令和2年はコロナウイルスの影響もあり6%減少し4.0万人となっている。

図 宿泊者数の推移



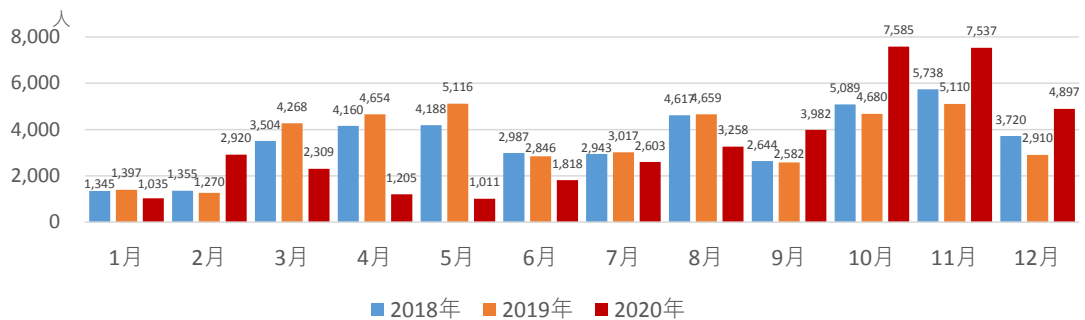
宿泊施設定員稼働率は、平成 30（2018）年、令和元（2019）年で国平均を及ばず多い月でも 25%であるが、令和 2（2020）年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国の「GoTo トラベルキャンペーン」及び桜井市の「桜井泊まってエンジョイキャンペーン」が始まった 10 月 11 月に稼働率が上がったものの、宿泊者数は伸びず、年間 40,000 人程度となっている。

図 宿泊施設月別定員稼働率



参考 国データ 出典：国⇒宿泊旅行統計調査 延べ宿泊者数／総収容人数

図 宿泊施設月別延べ宿泊者数





## 5 ふるさと納税の状況

桜井市のふるさと納税は、年々寄付金額が増加し、平成29年度72百万円、平成30年度124百万円、令和元年度208百万円、令和2年度は207百万円。市では返礼品の種類を増やしたり、市の魅力を発信しており、選ばれた返礼品には、宿泊、体験、食事、ツアーなども見られる。

図 桜井市ふるさと納税の状況（令和2年度）

左：返礼品別商品額合計 右：ふるさと納税返礼品別件数

